

# 高校10校の演劇部員熱演

## 西部市民会館 東播磨、淡路地区の発表会

ゾンビにまつわる作品を演じた明石西  
高校の演劇部―明石市立西部市民会館



高校の演劇部員らによる  
県高校演劇研究会の「東播  
磨支部・淡路支部合同発表  
会」が、明石市立西部市民  
会館（同市魚住町中尾）で  
開かれた。練習を重ねてき  
た計10校の部員らが舞台上  
立ち、熱のこもった演技を  
繰り広げた。

同発表会は、県大会へ続  
く地区予選に当たり、今回  
は25、26日であった。以前  
は東播磨地域と淡路地域に  
分けて開催していたが、淡  
路の演劇部が減少し、昨年  
度から合同で開く。  
26日は5校が登場し、部  
員や顧問が創作した脚本を

演じた。明石西高は、廃部  
になった演劇部員たちが  
「ゾンビ部」をつくって活  
動するという物語に挑戦。  
体調不良の生徒が出て顧問  
が代役を務めたため審査の  
対象外となったが、ユーモ  
アあふれるやりとりや動き  
が観客の笑いを誘い、深く  
考えさせられる場面もあっ  
た。  
ゾンビ部員を演じた2年  
生の浦本叶羽さん（16）は  
「初めての舞台上で緊張し  
たが、メンバーが欠けて  
も演じ切れて良かった」と  
話した。ホールの外には  
学校ごとの模造紙が張ら

れ、観客が感想を書き込  
んだ。

審査の結果、明石城西高  
と加古川西高が11月14、16  
日に明石市立西部市民会館  
で開かれる県大会に出場を  
決めた。  
（森 信弘）